

寄贈図書リスト

孔子の見た星空
福島久雄, A5, 260p, 2,472 円, 大修館書店,
読み物

Edwin Hubble

Gale E. Christianson, A5, 420p, £19.50, Institute
of Physics Publishing Bristol and Philadelphia, 読み物

月報だより

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果 (前所属)
3. 着任時期

国立天文台理論天文学研究系助手

1. 第 89 巻 5 号
2. 和田桂一 (北海道大学情報処理センター)
3. 1997 年 5 月 16 日

宇宙科学研究所次世代探査機センター助教授

1. 第 89 巻 8 号
2. 中川貴雄
3. 1997 年 2 月 1 日着任

立教大学理学部物理学教室専任教員

1. 第 89 巻 9 号
2. 平原聖文 (東京大学大学院理学研究科地球惑星物理学専攻)
3. 1997 年 5 月 1 日着任

研究会・集会案内

第 19 回宇宙ステーション利用計画
ワークショップ

一宇宙ステーション (JEM) 利用の幕開け—

開催日時: 平成 9 年 7 月 1 日 (火) 10:00 ~ 17:00
2 日 (水) 10:00 ~ 17:00

開催場所: 砂防会館 シェーンバッハ・砂防
(住所: 東京都千代田区平河町 2-7-5)

会合内容: 7 月 1 日 (火) 全体会

宇宙ステーション日本取付型モジュール (JEM) の利用などに関する講演及び討議. 宇宙ステーションの利用計画概要. NASA (米), ESA (欧), CSA (加), ロシアの宇宙環境利用に関する現状, 方向性, 日本モジュール (JEM), 曝露部の利用選定評価の結果などの紹介.

7 月 2 日 (水) 分科会

微小重力科学, ライフサイエンス, 理工学・通信, 観測 (天体, 地球) 宇宙医学各分野に分かれた JEM 利用方針に関する意見交換など.

主催者名: 科学技術庁, 宇宙開発事業団, (財) 宇宙環境利用推進センター, (財) 日本宇宙フォーラム

参加費: 無料

詳細問い合わせ先:

(財) 宇宙環境利用推進センター 調査研究部

担当: 中野邦男

〒169 東京都新宿区早稲田 3-30-16

TEL03-5273-2442

FAX03-5273-0705

国立天文台水沢観測センター施設公開のお知らせ

期 日: 平成 9 年 6 月 14 日 (土) 午前 10 時 ~ 午後 4 時

場 所: 岩手県水沢市星ガ丘町 2-12

国立天文台水沢観測センター

電話 0197-22-7111

公開施設: 10 m アンテナ, 重力絶対観測室, コンピュータ室, 木村記念館等

講演会: 「探査機で月を探る—大型月探査機 2003 年打ち上げに向け研究開始—」

河野宣之 (国立天文台地球回転研究系教授)

社団法人日本物理学会 1997 年度科学セミナー
『物理学 21 世紀へ向けて』

新物質が拓く物理学の新たな地平
—電子の波動性と粒子性—

期 日：1997 年 7 月 19 日(土)～21 日(月)

会 場：学習院大学百年記念館小講堂
(東京都豊島区目白 1-5-1 TEL03-3986-0221)

聴講料 (消費税込)：一般 15,000 円
 会員 10,000 円
 学生 (一般および会員) 4,000 円

* 本会賛助会員の団体に属する方および協賛学会 (日本天文学会含む) の会員は、すべて本会会員と同じ聴講料とします。大学院生は学生料金を適用します。

* 聴講料にはテキスト 1 部を含みます。テキストは 7 月初旬に発送予定です。なお、テキストのみご希望の方には、1 部 1,500 円/送料 240 円 (消費税込) で頒布します。

* 内容の詳細は下記問合先へお尋ね下さい。

定 員：200 名。先着順とし、定員に達し次第締め切ります。

申込方法：下記問合先へお尋ね下さい。
問合先：(社)日本物理学会 科学セミナー係
 〒105 東京都港区芝公園 3-5-8
 機械振興会館 211 号室
 TEL：03-3434-2671

聴講券：聴講申込者には聴講券をお送りします。受講の際は必ずご持参下さい。

主 催：日本物理学会

会 務 報 告

日本天文学会メイリングリスト TENNET

TENNET (TENmongaku NETwork) は、日本天文学会の会員間で、情報交換や議論を行なうためのメイリングリストです。現在、600 名以上が参加しています。

〈登録資格〉

1. 日本天文学会、及び関連のある学会 (日本物理学会、日本惑星科学会、等) の会員
2. 天文学の研究に関連のある仕事 (協力あるいは補佐) に従事する団体等で、購読が適当と認められるもの

〈登録方法〉

1. 会員番号 (日本天文学会以外の場合は所属学会も)
2. 氏名

3. 配送先のメールアドレス
4. 登録を希望する理由 (登録資格が 2 の場合) を明記して、TENNET 運用管理者 (ネットワーク管理委員会) tennet-request@tenmon.or.jp までお送りください。登録作業は手作業のため、数日程かかることもあります。御了承下さい。

日本天文学会 WWW サーバー

日本天文学会では、学会活動に関する様々な情報を、学会会員の皆様に迅速にお伝えするために、WWW サーバーを運用しています。日本語版ホームページの URL は、以下です。

<http://www.tenmon.or.jp/index-j.html>

現在、この WWW には、以下のような内容が含まれています。

1. 組織及び活動
天文学会の組織、活動の紹介。会議の報告。
2. 年会 (Annual Meetings)
年会の案内。年会プログラムの掲載。発表著者名、分野、時刻などをキーにプログラムの各種検索をすることができる。
3. 天文月報 (The Astronomical Herald)
印刷版の天文月報を補い、主に研究関連情報 (人事公募、研究会の開催など) に関して、最新の内容をいち早く提供。天文月報への投稿の手引もあり。
4. 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan)
投稿の手引。投稿用 LaTeX マクロとマニュアルの配布。新投稿、受理済論文のリスト。過去の論文の検索。その Abstract の閲覧。
5. 第 23 回国際天文学連合総会 (The 23rd General Assembly of IAU)
1997 年 8 月に京都で開催される国際天文学連合 (IAU) 総会に関する情報提供。
6. 天文学用語集
天文学研究者が共同で執筆・監修したもので、天文学関連の用語について、簡単に説明。
7. 関連機関へのリンク (Other Sites)
国内外の関連機関が運営する WWW サーバーへのリンク

★尚、この WWW サーバーに関するご意見は www.tenmon.or.jp までお願いします。

訃 報

本会会員小山ヒサ子様が、去る 4 月 5 日、心不全により逝去されました。(享年 80 歳)
謹んでご冥福をお祈りするとともに会員諸氏にお知らせいたします。

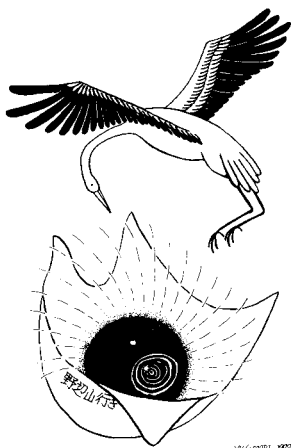
訂 正

1996年12月発行(1996年10月15日現在)の名簿のうち37頁の住所の一部に下記の誤りがありましたので、お詫びして訂正致します。

	(誤)	(正)
7, 10, 17, 22 行目	京都	東京都
8 〃	庫県	兵庫県
12 〃	阪府	大阪府
14 〃	城県	茨城県
16 〃	府	京都府
20 〃	葉県	千葉県

天文月報第90巻5号の「三宅賞」の一部に誤りがありました。お詫びして訂正致します。

誤	研究助成第1回締切	1996年8月31日
正	〃	〃 1997年8月31日



「Tタウリ型星の誕生」

大森幸子(東京都)

編 集 後 記

「アッ!」という間に2年が過ぎ、4月の天文学会役員の交代に伴う天文月報編集委員の新規入れ替えのため、編集委員会から離れることになりました。14年間の国外追放から帰国して、何だか訳が解らないうちに編集委員長に祭り上げられ、それからわずか2年で今度は国立天文台ハワイ観測所への赴任という鳥流しとなったため、後事を新編集委員長の末松さんと編集委員の皆さんに任せることになった訳です。

編集委員に就任当初は、「こんな風をしたい、あんな風にもしたい」と、いろいろ考えては見たものの、現実の厳しさ、とにかく毎月原稿を揃えて、滞りなく出版にこぎ着けることに汲々として終わった2年間でした。この間、編集作業の見直し、DTP化による工程の簡素化と省力化、月報ホームページの開設などに着手。今やっと軌道に乗りつつあるところですが、僕自身はほとんど何の役にも立たず、他の編集委員のみなさんの努力とサポートで何とか凌いで来たのが正直なところ。編集委員の皆さん、「この2年間、ほんとうにご苦労さまでした」ここで改めて感謝の意を表明します。

そして、天文月報に原稿をお寄せいただいた執筆者の皆様にも深く御礼いたします。執筆者の皆さんの協力がどんなに重要でありたいものか、身に染みて解りました。また、人の顔を見ると、原稿依頼をしてしまう癖がついてしまいましたが、快く引き受けて下さった方々に、また一層のご活躍を楽しみにしております。今後は、天文月報からの執筆依頼があったら誠心に協力する心積もりです(これは自分で墓穴を掘っているのか?)。会員の皆様も天文月報の主旨をご理解の上、よろしくご協力をお願いします。

最後に新編集委員の皆様、前編集委員会より残された課題等の後始末、大変とは思いますが、皆さんの努力が天文学会員の声としての天文月報を支えていることを思い、一層のご奉仕をお願いします。天文月報が益々発展し、より良い記事で埋まることを期待しています。

これぞと思う研究成果が出ましたら、ぜひ月報誌上で宣伝を!

関口和寛(国立天文台ハワイ観測所)

編集委員	関口和寛(編集長)	末松芳法	田代 信	辻本拓司	中川貴雄	林 左絵子	平野尚美	宮坂正大
平成9年5月20日	発行人	〒181	東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会		
印刷発行	印刷所	〒162	東京都新宿区早稲田鶴巻町565-12		啓文堂	松本印刷		
定価700円(本体667円)	発行所	〒181	東京都三鷹市大沢2-21-1	国立天文台内	社団法人	日本天文学会		
電話(0422)31-1359(事務室)	5488	(月報・欧文編集)	5487	(FAX専用)	振替口座	00160-1-13595		
日本天文学会のホームページ	http://www.tenmon.or.jp							